



みなと

みなと 46号 2015年6月1日

兵庫県声の図書赤十字奉仕団

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5

日本赤十字社兵庫県支部内

(TEL)078-241-9889 (Fax)078-241-6990

代表者 久保田加奈女

編集者 本川 勝子

平成 27 年度声の図書赤十字奉仕団総会

平成 27 年度総会は、4 月 18 日（土）10 時より 7 階大会議室で開催されました。団員数 130 名、出席者 51 名、委任状提出 74 名。

支部より、逢坂事業部長、日下課長、岩井係長、池田主事のご出席をいただきました。司会は松本裕子さん（神戸 YWCA）、議長に川岸昭夫さん（あかりの会）を指名、平成 26 年度の活動報告、収支決算報告、監査報告の承認を得、続いて平成 27 年度の活動計画・予算（案）の承認を得、無事総会を終了しました。

任期満了の役員、委員長 大下 操さん、副委員長 中山君子さん、会計監査 平野治子さん、の 3 名は退任され、今年度新役員に、委員長 久保田加奈女さん（はあもにい）、副委員長 中山君子さん（神戸 YWCA）、会計監査 山田園代さん（そよかぜ、）が承認されました。

任期を終えられた、大下 操さん、中山君子さん、平野治子さん、2 年間の活動に感謝いたします。ありがとうございました。

平成 27 年度本部役員

委員長	久保田 加奈女	（はあもにい）	新任
副委員長	上原 恵子	（あかりの会）	留任
副委員長	中山 君子	（神戸 YWCA）	新任
書記	本川 勝子	（ことばの花束）	留任
会計	中桐 美齡	（ともしび）	留任
会計監査	山田 園代	（そよかぜ）	新任

★よろしくお願ひします★

総会終了後、司会の松本さんの進行により懇親会が開催され 8 テーブルに分かれて座り、支部から逢坂事業部長、日下課長、岩井係長、池田主事に各テーブルに入っただき、日下課長よりご挨拶を頂戴して昼食を共にしながら、異動して来られました岩井係長、池田主事のご挨拶で、親しみが深まって和やかさがさらに増しました。いつも声奉の活動にご協力いただき感謝しています。

楽しい雰囲気の中、和気あいあいと話しが弾み懇親会は無事終了しました。

前本部役員のひとつこと

ただただ、支部の皆様や団員の皆様に育てていただいた2年間でした。心より感謝申し上げます。

自らボランティア活動を自分の生活の中に選んだ私にとって、可能性がまだまだ用意されているんだということ、この世の中、捨てたものじゃないという幸せを感じさせていただいています。

朗読奉仕や被災者の心のケアに、街中に出て視覚障がい者と青少年との間に入り学びのお手伝いにと、その時代のニーズに応じて活動内容も推移していきます。マルチの声の図書赤十字奉仕団に未来の姿を重ねて退任の挨拶とさせていただきます。

委員長 大下 操(青年)



2年前の新役員のひとつこと、ボランティアルームに行ってもお顔とお名前が一致しない方がいらっしやいますと書きましたがこの2年間で多くの方とお話(お願い事を)させて頂きましてお名前とお顔が一致する事が出来ました。

又、今まで知らなかった奉仕団の活動等を知る事が出来て良かったです。

これから役員としての仕事をと思った時に任期が終わりになりました。

皆様のお陰で無事に終わる事が出来ました。有難うございました。

副委員長 中山 君子(神戸YWCA)



役員をお引き受けしてから2年、あっという間に過ぎてしまった感じがします。

月日が経つのが早く感じるという事はそれだけ年齢がいつている証拠かもしれません。

しかし、その間私にとってはグループを超えての交流の機会を持つことが出来て得ることの多い2年間でした。

団員の方の日頃の奉仕活動、そして支部の方々の手厚い援助を目の当たりにして改めて声奉の団員である事に喜びを感じました有難うございました。

会計監査 平野治子(こすもす)

新本部役員のひとこと

この度、委員長をお引受けすることになりました。あがり症だった私が、まさかこのような日を迎えるとは、とても感慨深いです。これも諸先輩方との出会いのおかげです。ボランティアルームは、毎日団員の方々の活気に溢れています。新しいことにチャレンジする姿が団員お一人おひとりの刺激となり、相乗効果を生み出しているのではないかと思います。

これから2年間、団員の皆様、支部との潤滑油となり、よりよい図書をリスナーにお届けできるよう、役員と協力し合ってサポートしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

委員長 久保田加奈女 (はあもにい)



「はじめまして!」と言いたいのですが、引き続き副委員長をさせて頂く事になりました。

過去2年間に経験させて頂いた事を活かして、少しでも皆様が声の奉仕団の活動がスムーズに出来るように微力ですが頑張りたいと思っております。宜しくお願い致します。

副委員長 中山 君子 (神戸YWCA)



声のボランティアに参加するようになって2年弱の私が、無謀にも役員をお引き受けすることになりました。

何でも前向きにチャレンジしようと思っています。が、皆さまの温かい心と優しさが頼りでございます。

ご迷惑をお掛けするかもしれませんが、よろしくご指導をお願いいたします。

会計監査 山田 園代 (そよかぜ)

～奉仕課から異動のご報告とご挨拶～



この度、兵庫県支部 奉仕課 ボランティア係長 兼 青少年係長を拝命しました。以前勤めていた姫路赤十字病院でボランティアの方達との関わりもありましたが、兵庫県支部に勤めるようになってから改めて多くのボランティアの方達が活動されていることに感動しました。4月の声の奉仕団の総会では皆様にお会いできて光栄です。今後は皆様にお役に立てるよう仕事に取り組んで参りますのでよろしくお願い申し上げます。

(姫路赤十字病院→兵庫県支部) 岩井 良次

4月1日より奉仕課に配属になりました池田史子と申します。明石生まれの神戸育ちで、2003年より赤十字の職員として働いています。前部署では、災害医療に係る会議・研修事務を担当していました。奉仕課のお仕事は、全く新しい分野で、まだまだ分からないことだらけなのですが、赤十字を支えてくださる皆様と一緒に働けるのを楽しみにしています。

(災害医療センター→兵庫県支部) 池田 史子

私にとって声の図書の奉仕団は、入社以来、長い長い時間の中にたくさんの思い出のある、とても身近な存在です。式典の受付等でご一緒した時、広報担当でイベントへの参加等をお願いした時、いつも団の皆さんは温かく受け入れてくださいました。新庁舎移転後のボランティアルームには常にどなたかが活動されていて、それを見ると本当に嬉しかったです。録音に面白いゲストが来ると聞けば取材させていただき、外での録音について行ったことも。楽しい時間をありがとうございました。今は姫路日赤で一から奮闘中です。皆さんもお変わりなく、ますます魅力的な朗読を全国のリスナーさんに届けてくださいね。

(兵庫県支部→姫路赤十字病院) 松本 和子

50周年をはじめとした大きなイベントや、新規の企画など行事が目白押しの4年間、一緒に携わって、貴重な経験ができたことに、とても感謝しています。また、食いしん坊で遠慮を知らない私は、皆さんから素敵なプレゼントやおいしい食べ物、グルメな情報などなど、数々のものを頂戴しました。本当にありがとうございました！異動して、私が一方的にかもしれませんが、声奉のみなさんとおしゃべりができなくて寂しく感じていますが、新しいことを一生懸命覚えているところです。ボランティアルームから私がいる事務所は見えるところにあります。たまに支部に来ることがありますので、その時はぜひご挨拶させてください。ありがとうございました！そしてこれからもよろしくお願い申し上げます！！

(兵庫県支部→災害医療センター) 大宅 佑果



マザー作成チーム

日赤声のアルバムとして CD を発行してから八年目に入りました。
さて、今回は「日赤声のアルバム」のマザーCD はどのようにして作られているかをお話してみたいと思います。(発送日は概ね毎月第 2 週目の月曜日です)

- ①まず提出された USB メモリーを「1ajisai」から順にパソコンに表示させ、編集に誤りがないかをチェックします。
- ②問題なければ、あらかじめ作っておいた「日赤声のアルバム 1504B (例)」のフォルダーにコピー貼り付けをします。誤りがあれば訂正し、コピー貼り付けをします(書誌情報の入力もれだったり、ページの付け忘れ等もたまにあります) これには時間がかかり、作業がスムーズに進みません。
- ③次に「日赤声のアルバム 1504B」のフォルダーに「1ajisai」～「6yuki」または「8tutinoko」までが順に揃っているのを確認したら、「DIメーカー」というソフトで作業し、ディスクインフォを付けます。(これをしないと、プレクストークがデイジー図書として認識しません)
- ④いよいよCDに書き込みます。
- ⑤書き込み完了したら、CDに①～⑥または⑧までちゃんと書き込まれているかをパソコンとプレクストークでチェックします。どの作業も、緊張します。ミスのないように集中、集中!です。
- ⑥これでやっと声のアルバムのマザー完成です。「コピー、発送お願いしますと発送チームさんへボタンタッチです。

このようにして毎月マザーCDが作られ、発送チームさんがコピー、モニターした後発送し、リスナーさんへと届けられます。

私たちがよりよい声のアルバム作りを心がけていきたいと思いますので、今後ともどうぞご協力よろしくお願ひいたします。

デイジー班 知福優子



点字班



役員として昨年4月から点字班の例会に参加してまいりました。点字のことは何にもわかっていませんでした。長年生きてきたけどわかる必要がなかったからです。

声の図書奉仕団のなかで朗読以外に、こんな活動を長年続けて下さっているんだと実感しました。点字を書く作業は慣れるまで根気がいるけど、女性には合っているように思います。手芸のような内職のような？ 丁寧な手仕事。

音は耳から聴くとすぐ消えてしまうけど、点字ならいつでも自分のペースで読むことができるそう。なるほど、私たちが読書を楽しむように。

点字を少し書いてみたけど、ゆっくりしかできない。なかなか上達しません。初めて阪神電車で『2号車1番ドア』の点字が読めたとき感動しました。

たったこれだけなのに時間がかかった分だけ感動！

自動販売機には『コイン』『返却』の点字だけがあった。でもコーヒーかジュースか、何が入っているのかしら？ 誰かに聞かないと買えませんね。

☆点字の学校講習・・・小学校の時から視覚障がい者のことを知り、福祉の勉強をするのは大切ですね。小さいほど一生懸命です。大きくなってもどこかに覚えてくれていると思います。



☆点字班メンバー・・・声奉全体そうなのですが、みなさん親切に教えて下さって、居心地のいいところ。お気軽に見学に来て下さい。

点字班 上原 恵子



朗読・音訳を見直す会



早いもので、「朗読・音訳を見直す会」が発足して5年になります。

当初掲げた目標（声の図書のレベルアップ・平均化）は、PHP等の試聴、録音図書製作マニュアルの作成、そして勉強会の開催等を重ねて来た結果、ある程度達せられたのではないかと考えております。

しかし、常にある程度のレベルを維持し続ける為には、気を抜くことは出来ないのではないのでしょうか。一寸気をゆるめると、人間はすぐ安易な方へ流れてしまいます。私達、声の図書としては、一定のレベルを保ち、安心してリスナーの方々に良い朗読をお届け出来るよう、常に向上心を持ち続ける必要があると感じます。その為に、見直す会の活動を今まで通り続けて行かなければならないと考えております。

それと、もう一つの課題として、「校正」を考えています。しっかりとした録音をお届けする為には、欠かすことの出来ないことです。「校正」についての勉強会も、朗読勉強会と並んで企画しておりますので、皆様も関心を持って協力していただけたらと希望しております。

朗読・音訳を見直す会

阿部陽子



朗読・音訳を見直す会では、朗読・音訳に必要なと思われることを発信していきます。
今回は、動詞に否定の助動詞がついた時のアクセントとQ&Aです。

I. **動詞＋否定の助動詞のアクセント**

(1) 動詞＋「ない」

- ・平板式動詞「泣く」
泣かない(平板)、泣かなくて(後ろのナまで高い)、泣かなかった(後ろのナ)
- ・起伏式動詞「読む」
読まない(マまで高い)、読まなくて(マ)、読まなかった(マ)

(2) 動詞＋「ず」

- ・平板式動詞：泣かず(平板)、笑わず(平板)
- ・起伏式動詞：読まず(頭高)、泳がず(ヨまで高い)

(3) 動詞＋「ぬ」

- ・平板式動詞：泣かぬ(平板)、笑わぬ(平板)
- ・起伏式動詞：読まぬ(マまで高い)、泳がぬ(ガ)

* 動詞＋否定の助動詞のアクセントについては下記をご参照ください。

(参照) 三省堂「新明解日本語アクセント辞典」アクセント習得法 P. 53、90

II. **読み方Q&A**

Q：助詞「の」が付いた時のアクセントを教えてください。

A：「の」が次のようなものにつく時は、平板型に変化します。

①尾高型の語につく場合：夏(尾高)→夏の(平板)、男(尾高)→男の(平板)

②一(長音)、ン、イなどが最後の拍にきて、その前の拍まで高い中高型の語につく場合：昨日(ノまで高い)→昨日の(平板)、日本(ホ)→日本の(平板)

但し、「の」が次のようなものにつく時は、平板型に変化しません。

①旧国名、数を表す尾高型の語、及び特殊な尾高型の語：

土佐、信濃、三つ、七(シチ)、百、二度、次、余所、一日(イチニチ)、下手など

②一、ン、イなどが最後の拍にきて、その前の拍まで高い中高型の語のうち、数量、芸名：五人、大勢(オーゼイ)、百万、沢山、円朝、梅幸など

③無声化のためにアクセントが一拍ずれて、尾高型や中高型になった語：

四季(尾高)、試験(ケまで高い)、苦心(シ)など

参照) 三省堂「新明解日本語アクセント辞典」アクセント習得法則 P. 71

朗読・音訳を見直す会 池内早苗





平成26年度 単行図書貸し出しランキング表

2014.4.1～ 2015.3.31

順位	書名	著者名	貸し出し開始日	貸し出し回数
1	男のおばあさん	永 六輔	2014.04.24.	12
2	医者に殺されない47の心得	近藤 誠	2014.01.16	9
3	下町ロケット	池井戸 潤	2012.08.09	8
	昨夜のカレー、明日のパン	木皿 泉	2014.11.19	8
4	永遠の0	百田 尚樹	2014.05.12	7
	三匹のおっさん	有川 浩	2014.11.27	7
	少年H	妹尾 河童	2014.07.31	7
	植物図鑑	有川 浩	2014.09.18	7
	日暮し(上中下)	宮部 みゆき	2014.07.03	7
	ぼんくら(上下)	宮部 みゆき	2013.10.18	7
	ぼくの村は戦場だった	山本 美香	2014.07.07	7
	夜行観覧車	湊 かなえ	2013.06.13	7
5	神様のカルテ	夏川 草介	2012.02.29	6
	フリーター家を買う	有川 浩	2013.12.10	6
6	時雨みち	藤沢 周平	2012.06.19	5
	ちっちゃなかみさん	平岩 弓枝	2009.11.25	5
	悩むが花	伊集院 静	2013.02.28	5
	八朔の雪	高田 郁	2013.11.07	5
	見知らぬ妻へ	浅田 次郎	2010.01.27	5

今年度も順調に録音図書も増え、貸し出し本が多岐にわたっているようです。
リスナーの方がいろいろな本を聞いてくださっていることにつながっていると思います
これからも単行本の録音をよろしく願いいたします。

単行図書検討会 中原 昌代



リスナーお便り



松本民雄 2015.3.01

いつも楽しい情報をお聞かせ頂きまして、ありがとうございます。
「春よこい」と言う歌は、ほんとうに誰でも歌える歌ですね？私は今、網野図書館で、年間を通じて行われています「大人の耳から読書」と言うイベントがあるのですが、そこでは、小説や昔話を聞くだけでなく、皆が知っている歌をお腹の底から大声で歌おうと言うコーナーがあって、その季節にあった童謡を歌おうと言うことになっているのです。

尚、今年度、最初の「大人の耳から読書」は、3/8 日曜日です。では、ここで音楽を録音させていただきます。愛知県に伝えられております「三河万歳」の中から、「御殿漫才」と同じく「三河万歳」の中より「三河万歳・忠臣蔵」を送りましょう。三河万歳は、一般にテレビやラジオで聞いている「掛け合い漫才」とは違います。



後藤 克子 2015.4.02

いつも、お世話をさせていただきましてありがとうございます。又、この度の「語り継ぐ戦争、1000 通の手紙から」は涙なくしては、聞かれませんでした。本当に語り継いで戦争は絶対にしてはならないことを忘れてはいけませんよね。「永遠の0」も2回読みました。「声のアルバム」も楽しみです。

これからも、どうぞよろしくお願い致します。

(聞くだけでは忘れるので、点字で書いて保存したりしています)

文章を書くのが苦手ですが、書かずにはおれませんでした。私の父も3回。ではこれで失礼いたします。皆様どうぞ体調に気を付けてくださいませ。



松本 民雄 2015.4.16

いつも楽しい情報をおきかせいただきまして、ありがとうございます。
今回紹介して頂いた、「酒心館」は、私たち、視覚障害者が見学に行っても、説明して頂いた上に、酒造りの道具を触らせて頂くことはできますか？又、二階へ上がるのには、エレベーターが付いているのですか？よく分からなかったので、電話で詳しく教えて頂けませんか？その時に、お昼ごはんを食べるのに食堂はありますか？それも一緒に教えて下さいませんか？

では、今回は和楽器の音色を聞いて頂きましょうか？その中で、「二弦琴」と言う楽器がありますが、皆さんは、二弦琴をご存知ですか？三味線よりも、柔らかな音がします。その二弦琴といっしょに、能管が演奏をしています。

松本 民雄 2015.5.03

いつも楽しい情報をお聞かせいただきまして、ありがとうございます。
 ところで、今回の花時計は、日本野鳥の会の方のお話をきかせていただきましたが、みなさんは、ウミネコの鳴き声を聞かれたことがありますか？ウミネコは、一年中いる留鳥だそうですが、皆さんの地方では、ウミネコのことを、なんと言いますか？
 ウミネコの声を、丹後に住んでおられる年配の人は「アホウドリ」と言われる人もあります。どうして「アホウドリなんですか？」と尋ねてみると「アホウ、アホウ」と鳴くから、アホウドリなんだと言うひとが多いですね？でも、ほんもののアホウドリは、「アホウ、アホウ」とは鳴きません。低い唸るような声で鳴いています。
 私はテープでアホウドリの鳴き声を聞きました。
 尚、アホウドリは国の天然記念物だそうですよ？
 鳥と言えば、私は数年前に網野福祉会・桃山の里の研修旅行で、兵庫県豊岡市のコウノトリの里公園へ行った時に、コウノトリの剥製を触らせてもらいました。それと、コウノトリの卵も触らせてもらいました。



花時計 4月号 こすもす	花時計 5月号 あかりの会
A面	A面
1.酒心館をたずねて 震災後20年を経過した酒蔵	1.野鳥の話 日本野鳥の会 松岡和彦
2.お酒のエッセー「幻の桜」	2.日本昔ばなし「くわず女房」
B面	3.朗読「NHK気になることばより」 大型連休
3.世界の民話から 「はちみつの好きなキツネ」	B面
4.暮らしの手帳より 「お変わりなくて」	4.落語「まんじゅう怖い」 上方落語と江戸落語の違い
5.旅だより「南イタリアの旅・後編」	5.朗読「空のほほえみ」より4編
6.野の花だより「カタクリ」	6.ジャズボーカル「スターダスト」 「恋したとき」
7.新しい単行図書のご案内	7.お便り 松本民雄さん